

浜崎小学校 1・2 年生 下田の海や水産業について学ぶ

9月24日に、下田市立浜崎小学校の1年生18名、2年生13名が、「生活科校外学習」の一環として会場に会場にきました。この生活科校外学習では、地域に生息する生き物に興味関心を持ち、学ぶことを目的としているとのことでした。

会場からは、下田の海や生き物、会場の仕事や役割、下田の水産業についての授業と、展示室の展示物の説明、会場で飼育している生き物の見学や餌やり体験を行いました。家族や親戚が漁師でキンメダイやイセエビ、アワビを食べたことがある、好き、という児童も複数おり、1、2年生には少し難しい水産業の話も、興味を持って聴いていました。展示室では定置網の模型や実際に使われていた潜水器、イセエビや海藻の標本を見せながら下田（伊豆）の漁業について説明し、飼育実験室や屋外水槽では飼育生物の紹介、マダイの稚魚やブリ（いなだ）への餌やりを体験してもらい、どの児童も下田の生き物や漁業、会場の仕事について楽しく学べたことと思います。



写真 施設見学の様子

(鈴木勇己)